

7月9日は「なでしこPOPの日」

働く女性のチカラで、お店を、会社を、地域を、社会を元気にする
コトマーケティング体験特別講座を開催



代表 伊坂 光恵



コトPOPを制作している様子



代表 伊坂の著書（共著）

【概要】

女性活躍アドバイザー、POP未来図（ポップミライズ、大阪市中央区）代表の 伊坂 光恵（いさか みつえ）は、**なでしこPOPの日（7月9日）**が一般社団法人 日本記念日協会に正式に登録されたことを記念し、**2025年7月9日（水）、本町俱樂部（大阪市中央区）で、特別イベントとして、「コトマーケティング体験講座」を開催します。**

伊坂は、**女性の感性を活かしたPOP販促による女性活躍・商売繁盛・地域経済の活性化実現**のため奔走してきました。「なでしこPOPの日」は、この動きをさらに広めることを目的として登録したもので、7は「なでしこ＝女性」、9は「POPのPの字」から名付けています。

【イベント内容】

日時：2025年7月9日（水） 時間：13:00～15:00

場所：本町俱樂部（※リアル会場満席のため、オンライン参加となります）

対象：販促に悩む小売店・飲食店の方、女性活躍や地域活性化に関心のある方など

参加費：1,500円（記念特別価格、通常15,000円）

内容：コトマーケティング体験講座（座学ではなく、実際にPOPを書きながら体得できる

- ・コト売りって何？
- ・価値の伝え方とは？
- ・売れるPOPと売れないPOPの違いとは？
- ・POPを通じて人材教育ができるのはなぜ？
- ・女性の感性が、どう“売れる現場”をつくるのか？

スケジュール：

13:00-13:15 オープニングトーク・趣旨説明

13:15-13:30 なでしこPOP実例紹介（女性リーダー対談）

13:30-14:50 コトマーケティング体験講座（記念日バージョン）

14:50-15:00 まとめ

申込・問合せ先：<https://0709nadeshiko.my.canva.site/>

問い合わせ先

概要

伊坂 光恵（いさか みつえ）
携帯電話：090-5884-3839
メール：isaka@koto-marketing.net
住所：〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町4-4-12
IBセンタービル2F-C

POP未来図（ポップミライズ）
代表：伊坂 光恵
設立：2020年5月
事業：販促支援、女性活躍推進、地域活性化支援など

【代表／伊坂光恵のプロフィール】

高校卒業後、5業種5社で販促を担当し、手書きPOPで成果を上げてきました。ラーメン店チェーン本部では、女性が活躍している店舗の成績が良いことに気づき、女性従業員を集めて販促や職場改善などについて話し合う「女性会議」を始めました。そこで、“価値を伝える”「コトPOP」のノウハウを共有したところ、**2020年のコロナ禍の中、30店舗合計で年間1億5千万円の売上を達成しました。**また、「女性会議」のメンバーのひとりはその後昇進を重ね、今では常務となって活躍しています。

「コトPOP」の方法論をYouTubeで発信すると、全国からPOPを教えてほしいという依頼が殺到、YouTube登録者は1万人を超え、書籍も出版することになりました。

そこで、2020年5月、「女性会議※」の仕掛けと「コトPOP」のノウハウを伝え、それをきっかけに女性に活躍してもらい、会社全体の商売繁盛につなげたいと考え、独立起業しました。

現在は、「コトPOP※」や販促ノウハウの研修はもちろん、企業における女性活躍推進の支援、地域や業界の活性化支援など、幅広い分野で活動しています。



独立後初めての
「コトマーケティング体験講座」



毎月開催している勉強会
「POP未来図アカデミー」

（※女性会議）

ラーメン店チェーン本部では、月1回、現場のパートさん含めた従業員が、業務改善のための課題を持ち寄って発表し、解決策を考えました。それを持ち帰って現場で実践し、成果が出れば次の会議で発表し、仲間の中で共有し、他店にも横展開していく、という良い循環を回していきます。

この一連の流れを通じ成功事例を称賛された女性は承認欲求を満たされ、仕事に自信が持てるようになります。周囲の女性も良い刺激を受け、やる気スイッチが入り、成果が出るようになります。会社に自分の居場所ができ、仕事が楽しくなり、自ら考え自ら動くようになり、会社全体が活性化していきました。

（※コトPOP）

「コトPOP」では、「モノ売り」ではなく「コト売り」を考えその商品は誰にどんないいコトができるのか、それはどうしてできるのかという、価値を伝えます。言い換えれば、商品自体を売るのではなく、商品がもたらすメリットを売るのです。いかに売るかではなく、いかに役立つのかを考える方法です。

問い合わせ先

伊坂 光恵（いさか みつえ）
携帯電話：090-5884-3839
メール:isaka@koto-marketing.net
住所：〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町4-4-12
IBセンタービル2F-C

概要

POP未来図（ポップミライズ）
代表：伊坂 光恵
設立：2020年5月
事業：販促支援、女性活躍推進、地域活性化支援など

【代表の想いと今後のビジョン】

代表の伊坂は、独立してすぐ、ラーメン店チェーン時代に主宰していた「女性会議」の経験を活かそうと「POP未来図アカデミー」という月1回の持ち寄り勉強会を開設しました。商売繁盛には、消費の決定権を持っている女性の感性を活かすことが不可欠と確信しているからです。

今後も、この「女性会議」という仕掛けと、その感性を反映させる「コトPOP」というツールを活用し、**嫌々やらされ仕事をこなして毎日を過ごし、潜在能力を眠らせている女性たちに、生き生きと活躍できる場をつくり、企業の売上が上がり、女性のやる気に火がつき、仕事が楽しくなり、会社全体の雰囲気盛り上がるというグッドサイクルを、日本全国に広めていきたい**と考えています。

具体的な活動としては、飲食・小売・サービス業におけるPOP講座イベント、再就労支援としての「販促女子養成講座」、高齢女性の活躍支援や、地域の観光業との連携、などを実施していきます。



「北極のアイスクャンデー」で有名な株式会社アークテックでのPOP制作
(左写真の前列中央は、久保田 光恵 社長)

【背景】

全国の中小企業が、物価高、人手不足、売上不振、後継者不在などに苦しみ、コロナ禍の借入金が返済できず倒産、廃業する会社が増えています。そこへトランプ関税が発動され、経営はさらに悪化しています。一方、いまだに多くの女性は非正規従業員として補助的な業務しか任されず、女性活躍推進への取り組みが進んでいるとはいえません。

少子高齢化により労働人口が減少している今、女性の潜在能力を発揮させ、その感性を活かして、会社の経営を改善し、ひいては地域や日本経済の活性化させることが、求められています。

男女格差報告の主な順位		
25年	24年	国名
1	1	アイスランド
2	2	フィンランド
3	3	ノルウェー
4	14	英国
5	4	ニュージーランド
42	43	米国
101	94	韓国
103	106	中国
118	118	日本 (G7最下位)

(出所) WEF

2025年6月12日に、世界経済フォーラム (WEF)が発表した男女平等の実現度合いを数値化した「ジェンダーギャップ指数」を見ると、日本の順位は、調査対象148カ国ちゅう118位と前年比横ばいだった。

経済参加では112位と前年の120位よりやや改善したが、政府高官や企業管理職などの高位に就く女性が少なく、男性同様に仕事をした場合に受け取れる賃金の格差も残っている。

問い合わせ先

概要

伊坂 光恵 (いさか みつえ)
携帯電話：090-5884-3839
メール:isaka@koto-marketing.net
住所：〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町4-4-12
IBセンタービル2F-C

POP未来図 (ポップミライズ)
代表：伊坂 光恵
設立：2020年5月
事業：販促支援、女性活躍推進、地域活性化支援など